

株式会社 シルク温泉やまびこ

決算書類

第14期

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

報告承認事項

第14期事業報告及び決算報告

1. 事業報告

9月に予定しておりました濾過器改修工事が2月に延び、メンテナンス料、電気使用料の削減が予定通りできなくなりましたが、広告宣伝費、消耗品費、衛生費の経費削減が順調に推移できた為、11月末には1,039千円の経常利益を残す事ができました。しかしながら年に2回、17日間の温泉休業により約4,300人の方の入浴の受け入れができず、また12月からの灯油の高騰、温泉機械の故障による上下水道使用量増、その水道光熱費増を止めるべく予定外の修理費用も計上した為、予算達成が困難な結果となりました。

全施設の利用者数は、158,524人 前期比 97.6% 総売上高 349,856千円、前期比 97.0% となりました。

各部門の利用者数は、宿泊、休憩 18,401人 前期比 103.6% 温泉 138,213人 前期比 97.0%、自然の郷では1,910人 前期比 89.3%となりました。

次に部門別売上高が、宿泊 199,492千円、前期比 107.7%、温泉 73,297千円、前期比 91.8%、売店 51,183千円、前期比 100.6%、自然の郷 7,413千円、前期比 103.6%となりました。

目標の予算達成を果たすべく、2月の温泉濾過器改修時期にも、温泉以外の営業に力を入れ、宿泊のお客様に近隣の温泉施設への送迎や温泉回数券の特別販売をまいりました。また7月から、安心安全な食事提供を目指し、食堂の外部委託をさせていただき、季節感のある新メニューや提供時間の短縮が可能になり、素泊まりのビジネス客をはじめ、研修会の昼食、夕食、温泉に来館いただいたお客様に、より一層喜んでいただける施設といたしました。

販売管理費においては、人件費はもとより、前述の通りあらゆる経費の見直しなど行った結果、当初予算より18,662千円好転しました。しかし灯油のみを見ても当期灯油使用量を前年の単価で算出しますと、差額が5,151千円の増となり(前期42.7円～64.6円、今期58.0円～77.0円)全体で厳しい状況となりました。

残念ながら結果として営業利益は△8,913千円、営業外収益 5,845千円となり、今期経常利益は△3,067千円、税引き後の当期純利益は △3,280千円でした。

来期は役員、社員一丸となり温泉の客数増、お昼の会食会の増に取り組んでまいりますので、株主様を始め関係者皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 事業実績

売上高の推移

(単位：千円)

| 区 分 | 第 12 期 | 第 13 期 | 第 14 期 |
|------------|---------|---------|---------|
| 宿泊部門 | 177,432 | 185,224 | 199,492 |
| 売店部門 | 63,866 | 50,850 | 51,183 |
| 食堂部門 | 27,351 | 26,973 | 7,843 |
| 温泉部門 | 87,656 | 79,760 | 73,297 |
| 自然の郷部門 | 7,842 | 7,153 | 7,413 |
| フィールドゴルフ部門 | 548 | 378 | 237 |
| 業務委託部門 | 7,504 | 6,542 | 6,584 |
| 自販機売上 | 3,439 | 3,527 | 3,807 |
| 合 計 | 375,638 | 360,405 | 349,856 |

営業成績、財産状況の推移

(単位：千円)

| 区 分 | 第 12 期 | 第 13 期 | 第 14 期 |
|-----------|--------|---------|--------|
| 営 業 利 益 | 7,101 | △10,629 | △8,913 |
| 当 期 純 利 益 | 6,886 | △4,269 | △3,280 |
| 総 資 産 | 94,852 | 91,872 | 88,162 |
| 純 資 産 | 75,735 | 71,466 | 68,186 |

3 会社の概要

(1) 資本金

| | |
|-----|--------------|
| 資本金 | 50,000,000 円 |
|-----|--------------|

(2) 株式の状況

| | |
|----------|---------|
| 発行済株式総数 | 1,000 株 |
| うち豊岡市保有分 | 510 株 |

(3) 役員の状況

| 役 職 名 | 役 員 名 |
|-------|-------|
| 代表取締役 | 奥田清喜 |
| 取締役 | 植田安雄 |
| 取締役 | 森友敏則 |
| 取締役 | 永井辰正 |
| 取締役 | 福田 茂 |
| 取締役 | 岸本直幸 |
| 監査役 | 小林辰美 |
| 監査役 | 柴田誠一 |

(4) 社員（従業員）の状況

| 区 分 | 人 数 | 構 成 |
|--------|-----|-----------------|
| 社 員 | 18 | 男性 11 人、女性 7 人 |
| パート・嘱託 | 6 | 男性 2 人、女性 4 人 |
| 計 | 24 | 男性 13 人、女性 11 人 |

決 算 報 告 書

第 14 期

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

株式会社 シルク温泉やまびこ

兵庫県豊岡市但東町正法寺165

損 益 計 算 書

(単位：円)

自 平成29年 4月 1日

株式会社 シルク温泉やまびこ

至 平成30年 3月31日

| 科 目 | 金 | 額 |
|-----------------|-------------|-------------|
| 【売 上 高】 | | |
| 宿 泊 売 上 高 | 199,492,429 | |
| 売 店 売 上 | 51,182,619 | |
| 食 堂 売 上 | 7,843,375 | |
| 温 泉 売 上 | 73,297,356 | |
| 自 然 の 郷 売 上 | 7,413,300 | |
| フ ィ ー ル ド 売 上 | 236,660 | |
| 業 務 委 託 売 上 | 6,583,895 | |
| 自 販 機 売 上 | 3,806,652 | 349,856,286 |
| 【売 上 原 価】 | | |
| 期 首 棚 卸 高 | 1,516,310 | |
| 仕 入 高 | 124,764,219 | |
| 材 料 仕 入 | 2,910,751 | |
| 飲 料 仕 入 | 6,600,663 | |
| 合 計 | 135,791,943 | |
| 期 末 棚 卸 高 | 1,334,936 | 134,457,007 |
| 売 上 総 利 益 | | 215,399,279 |
| 【販売費及び一般管理費】 | | 224,312,430 |
| 営 業 利 益 | | Δ8,913,151 |
| 【営業外収益】 | | |
| 受 取 利 息 | 5,236 | |
| 雑 収 入 | 5,839,987 | 5,845,223 |
| 経 常 利 益 | | Δ3,067,928 |
| 税 引 前 当 期 純 利 益 | | Δ3,067,928 |
| 法 人 税 等 充 当 額 | | 212,412 |
| 当 期 純 利 益 | | Δ3,280,340 |

販売費 - 一般管理費内訳書

(単位：円)

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

株式会社 シルク温泉やまびこ

| 科 目 | 金 額 |
|-----------|-------------|
| 役員報酬 | 3,264,000 |
| 給料手当 | 70,627,550 |
| 法定福利費 | 10,505,752 |
| 福利厚生費 | 2,293,610 |
| シルバー委託費 | 7,927,854 |
| 広告宣伝費 | 6,736,448 |
| 運賃 | 112,054 |
| サ一ビス費 | 1,512,157 |
| 燃料費 | 17,558,935 |
| 衛生費 | 17,088,098 |
| リース料 | 133,920 |
| 外注費 | 9,523,467 |
| 水道光熱費 | 28,611,424 |
| 事務費 | 1,903,136 |
| 消耗品費 | 4,075,542 |
| 地代家賃 | 756,000 |
| 支払保険料 | 1,156,132 |
| 修繕費 | 13,643,424 |
| 租税公課 | 8,516,550 |
| 減価償却費 | 1,194,004 |
| 一括償却資産償却額 | 565,416 |
| 接待交際費 | 695,684 |
| 旅費交通費 | 352,768 |
| 通信費 | 1,985,176 |
| 支払手数料 | 8,014,689 |
| 賃借料 | 3,392,691 |
| 諸会費 | 467,637 |
| 購読費 | 269,087 |
| 雑費 | 1,429,325 |
| 合 計 | 224,312,430 |

個 別 注 記 表

株式会社 シルク温泉やまびこ

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成している。

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・商品 …………… 最終仕入原価法による原価法

固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 平成10年4月1日以後に取得した建物及び平成28年4月1日以後
に取得した建物付属設備・構築物は定額法、
それ以外は定率法

無形固定資産 …… 定額法

収益及び費用の計上基準

原則として収益は実現主義により、費用は発生主義により計上している。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理 …………… 税込方式で計上している。

2. 貸借対照表に関する注記

固定資産から直接控除した減価償却累計額の合計額 …… 27,499,055 円

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

①当事業年度末日における発行済株式の数 …………… 1,000 株

②当事業年度末日における自己株式の数 …………… 0 株

③当事業年度末日に行う剰余金の処分に関する事項

平成30年6月8日開催予定の定時株主総会において決議を予定している。

別途積立金の取崩額 …………… 3,000,000 円

次期繰越利益剰余金 …………… 685,633 円

4. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額 …………… 68,185 円 63 銭

1株当たりの当期純利益金 …………… △3,280 円 34 銭